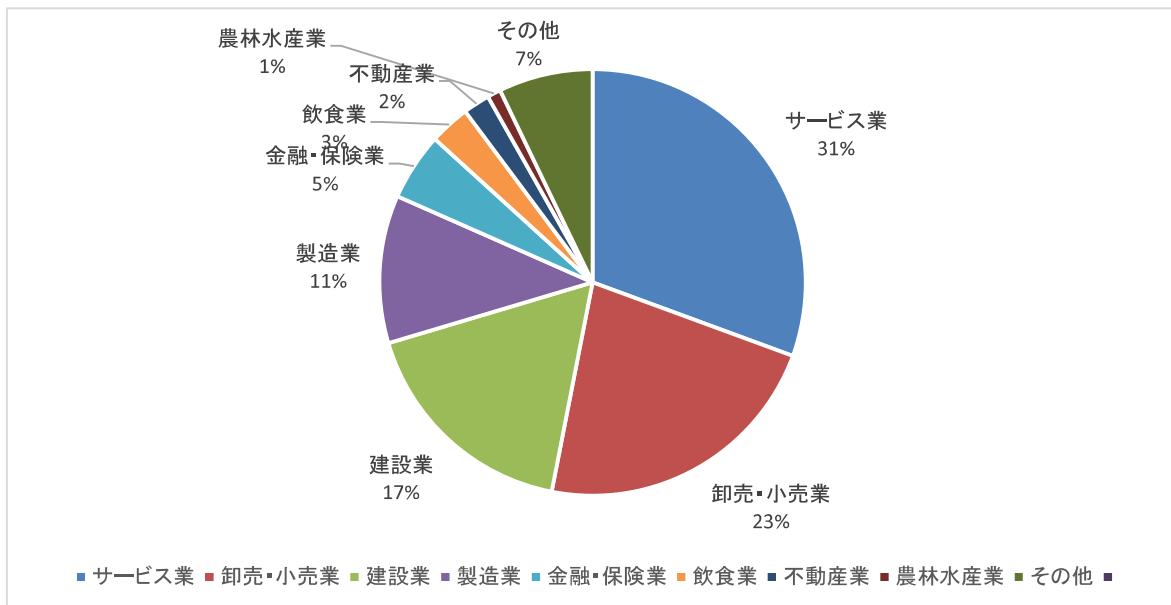


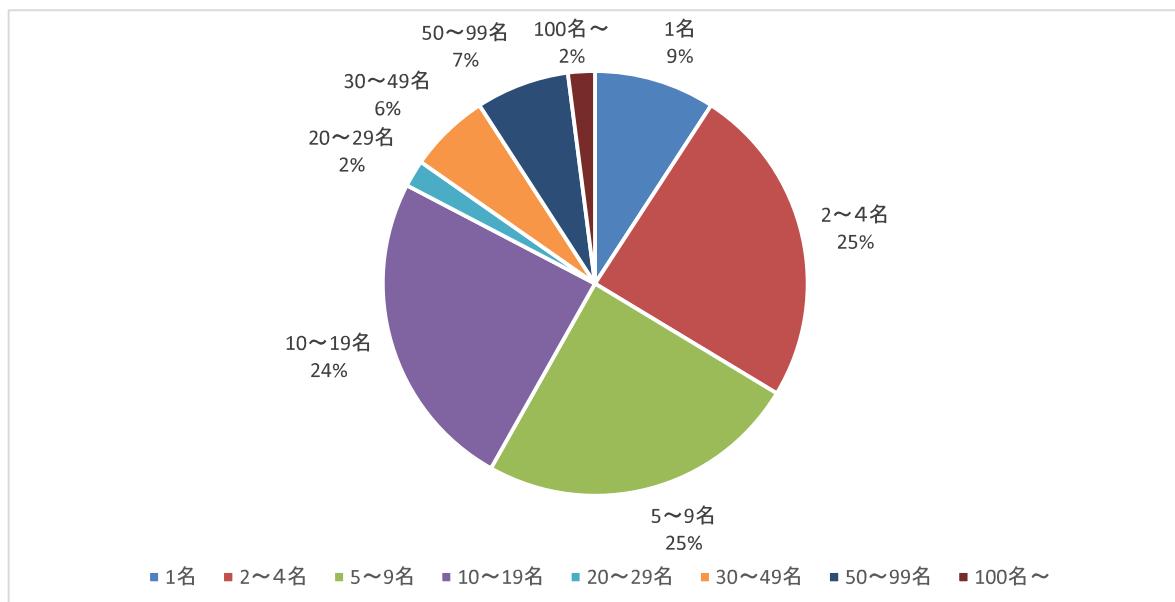
(一社)香川県中小企業家同友会 <第8回>新型コロナウイルスの影響に関する緊急アンケート調査結果

- 1.調査期間 2021年10月8日～10月21日
- 2.調査方法 e.doyu(グループウェアによるアンケート)
- 3.調査対象 (一社)香川県中小企業家同友会会員 1535名(10月12日現在)
- 4.回答数(%) 98名(6.4 %)
- 5.問3～問6の比較対象 第1回調査期間(2020年3月3日～3月10日)
第2回調査期間(2020年4月10日～4月20日)
第3回調査期間(2020年5月19日～5月28日)
第4回調査期間(2020年7月3日～7月10日)
第5回調査期間(2020年10月12日～10月22日)
第6回調査期間(2021年1月8日～1月20日)
第7回調査期間(2021年5月13日～5月23日)

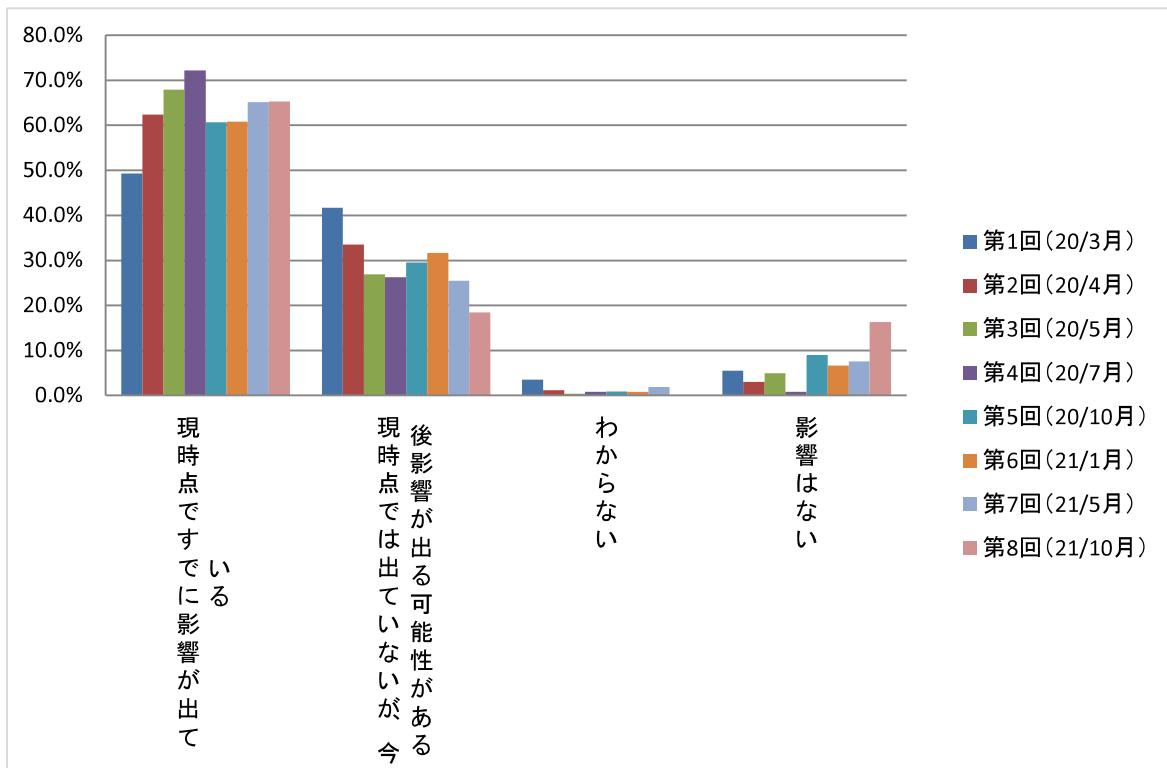
問1. 主な業種をお答えください。



問2. 従業員数(パート・アルバイト含む)についてお答えください。

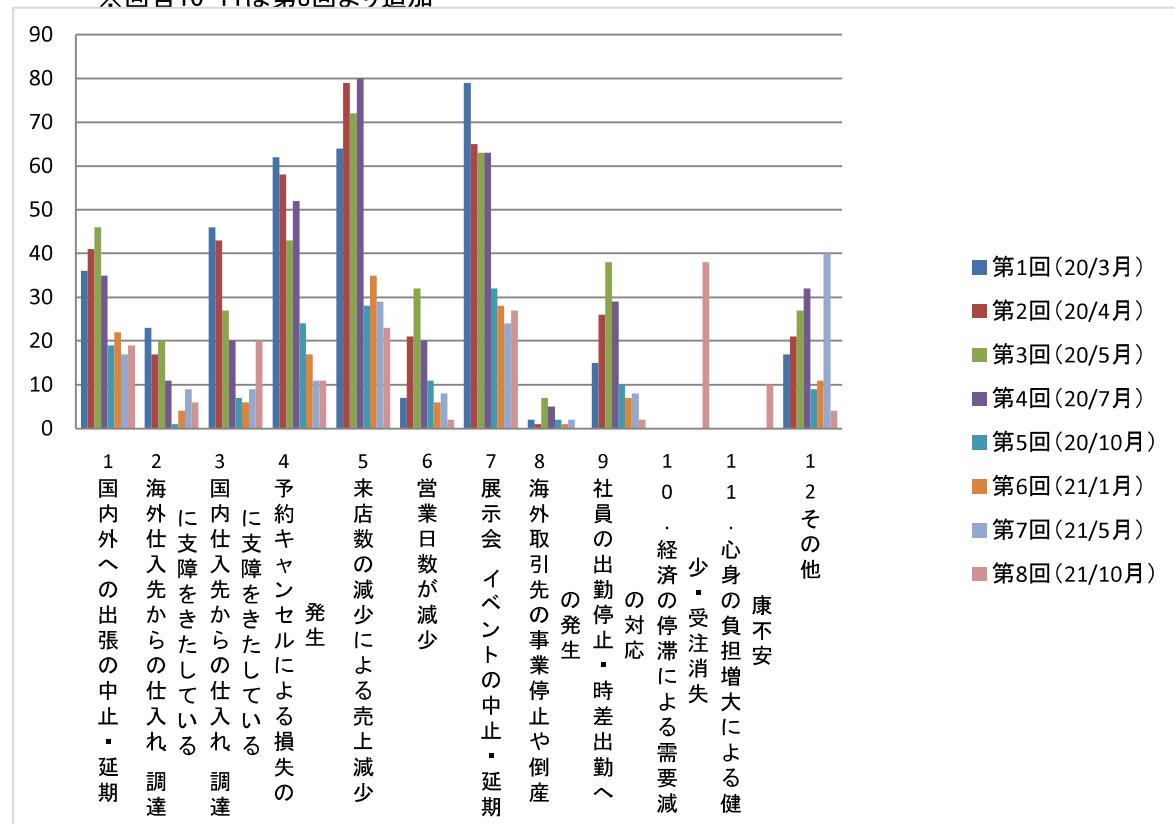


問3. 新型コロナウイルスの感染拡大は、貴社の経営や業界に影響はありますか。

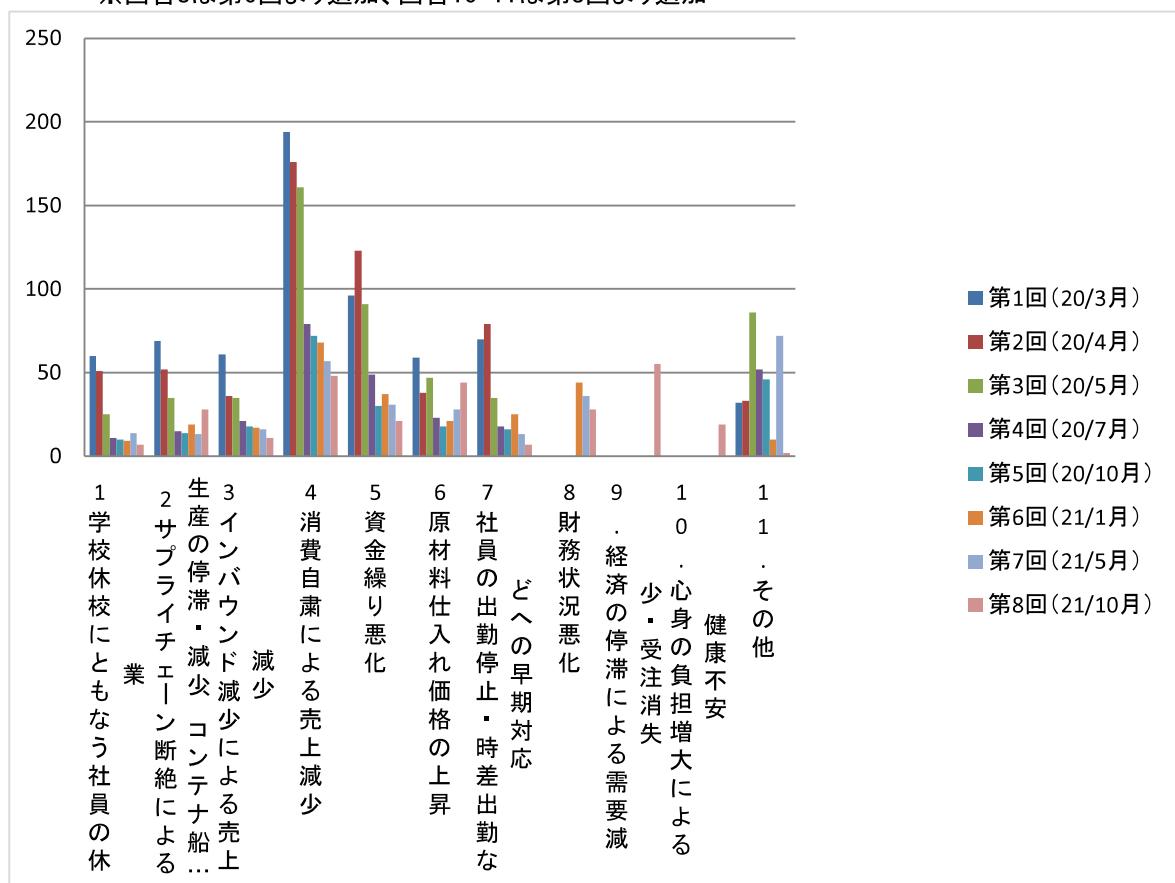


問4. 問3で「1」と回答した方に伺います。具体的にどのような影響がでていますか。(複数回答)

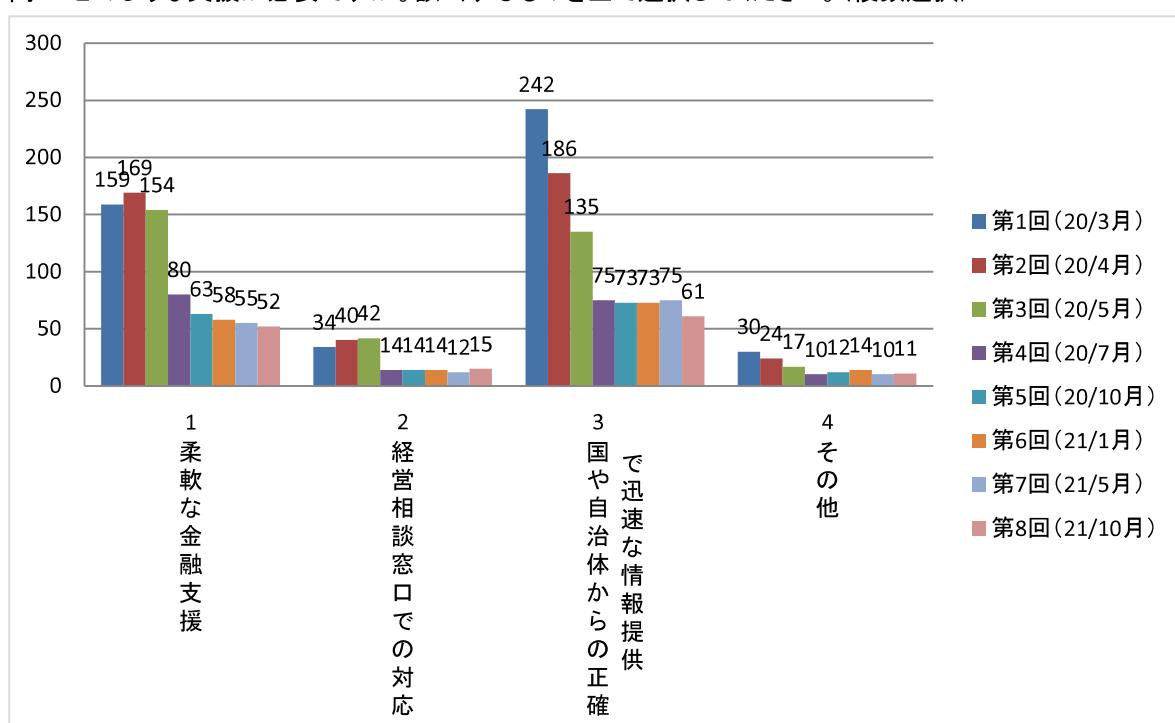
*回答10・11は第8回より追加



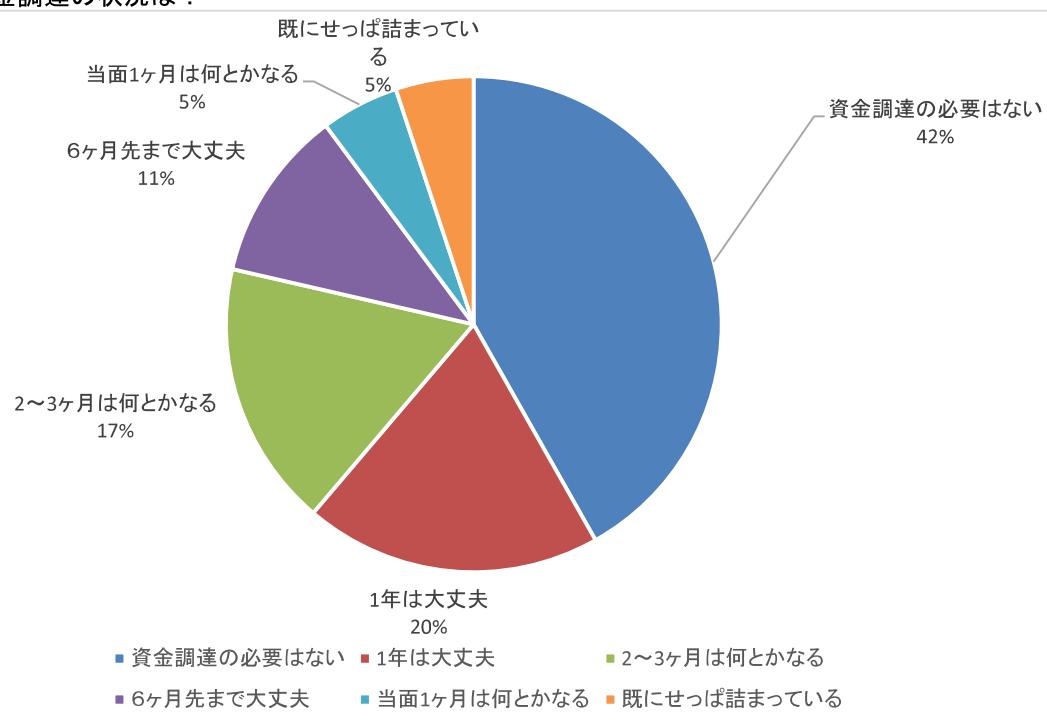
問5. 新型コロナウイルスへの今後の影響について、どのような懸念をお持ちですか。(複数回答)
※回答8は第6回より追加、回答10・11は第8回より追加



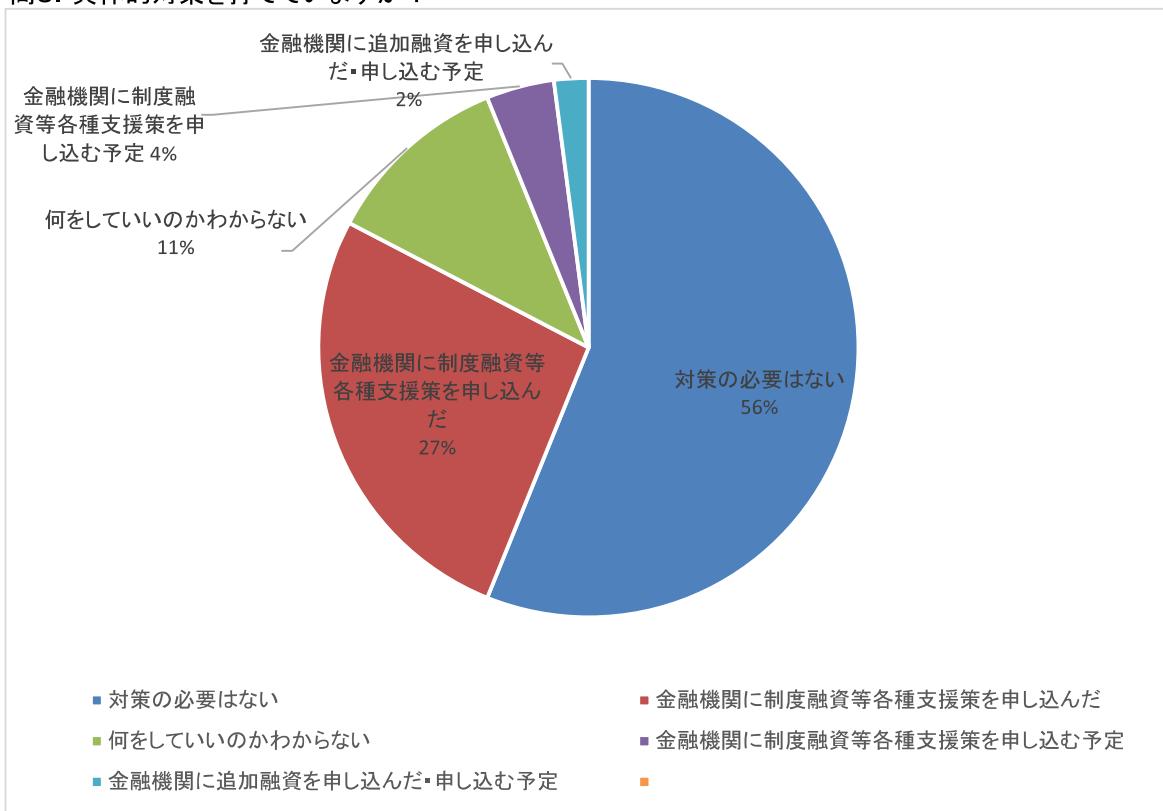
問6. どのような支援が必要ですか。該当するものを全て選択してください。(複数選択)



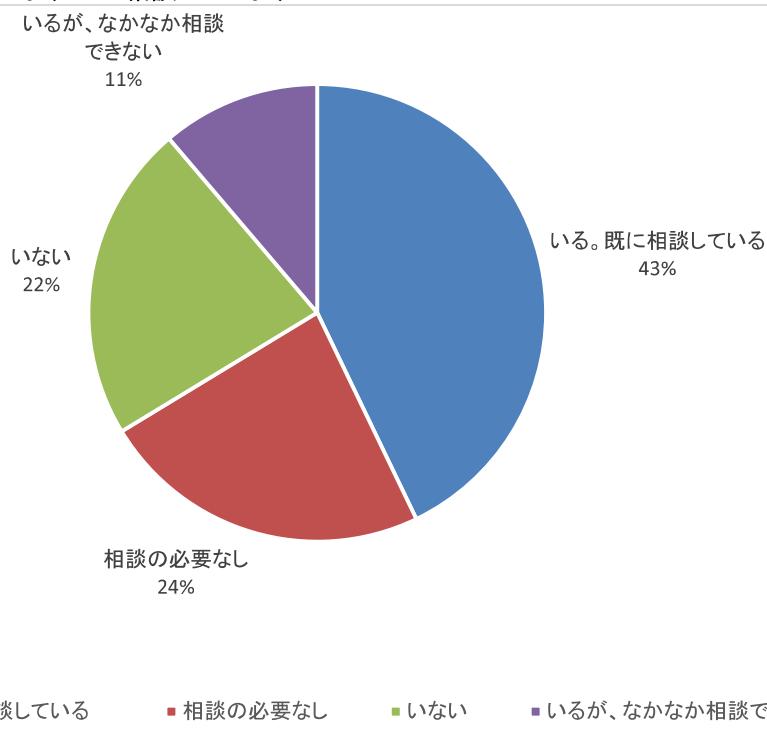
問7. 資金調達の状況は？



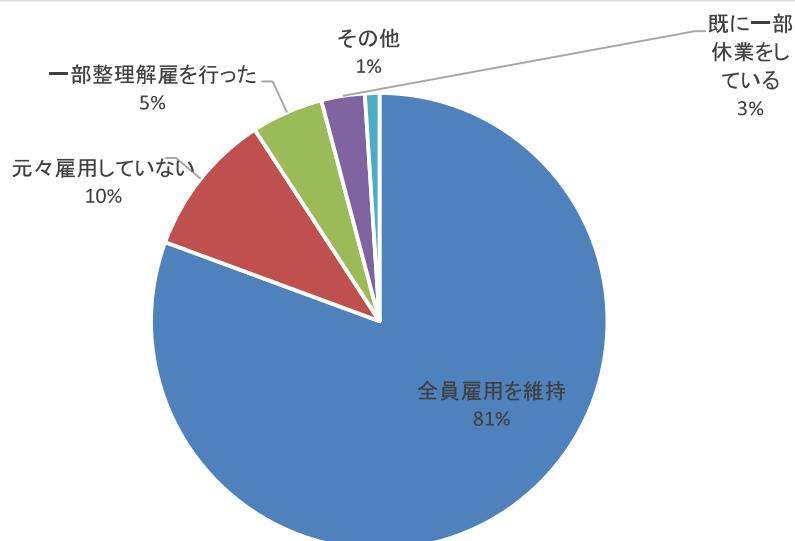
問8. 具体的対策を打てていますか？



問9. 頼れる専門家がいますか？相談していますか？

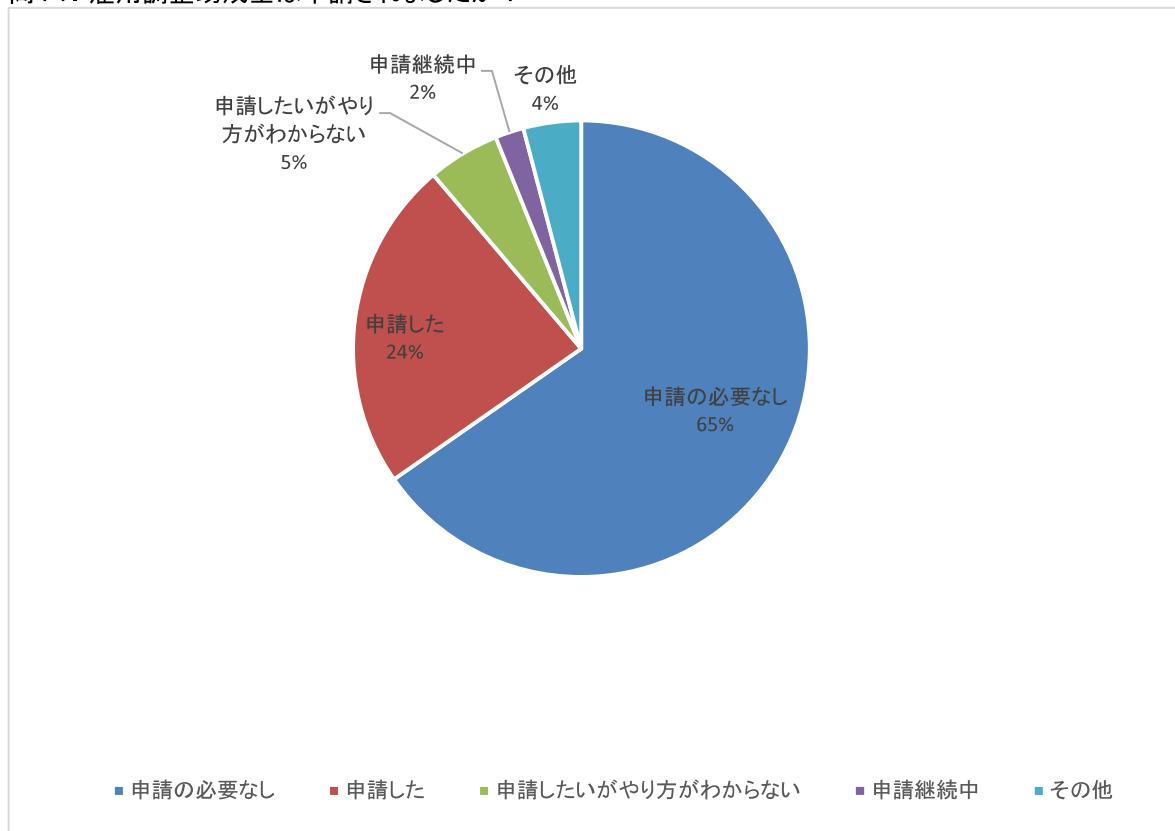


問10. 現在の雇用状況は？

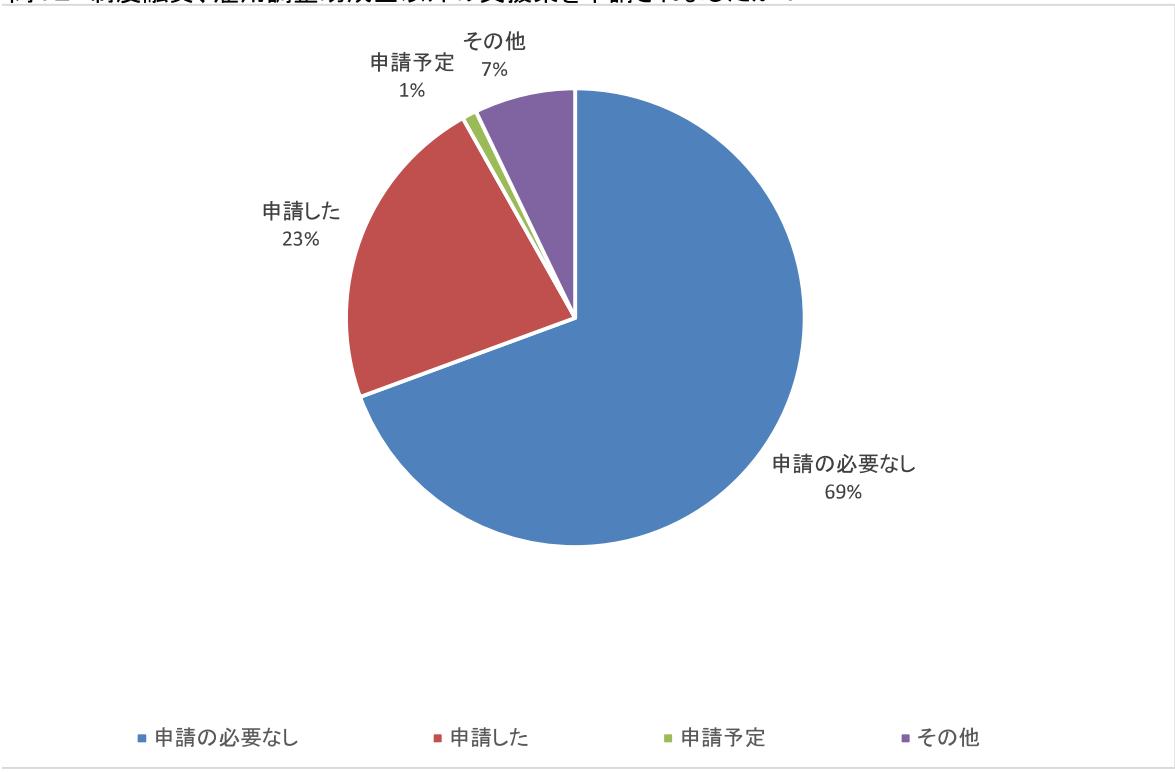


- 全員雇用を維持 ■ 元々雇用していない ■ 一部整理解雇を行った ■ 既に一部休業をしている ■ その他

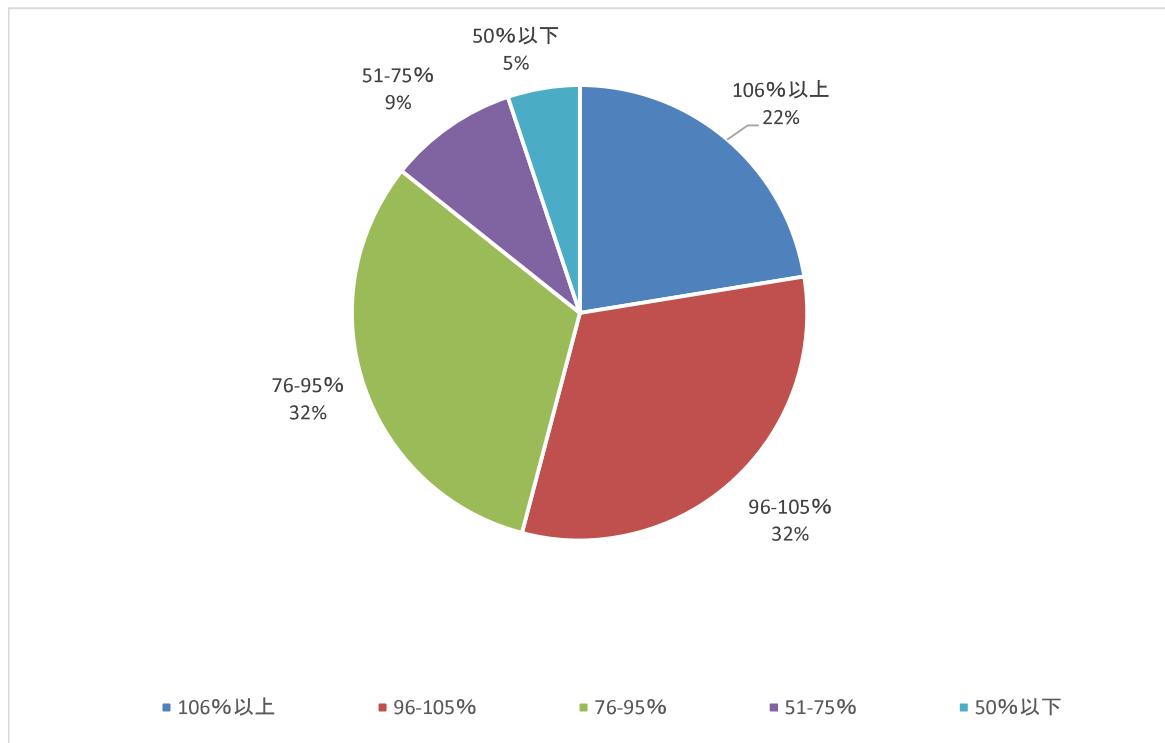
問11. 雇用調整助成金は申請されましたか？



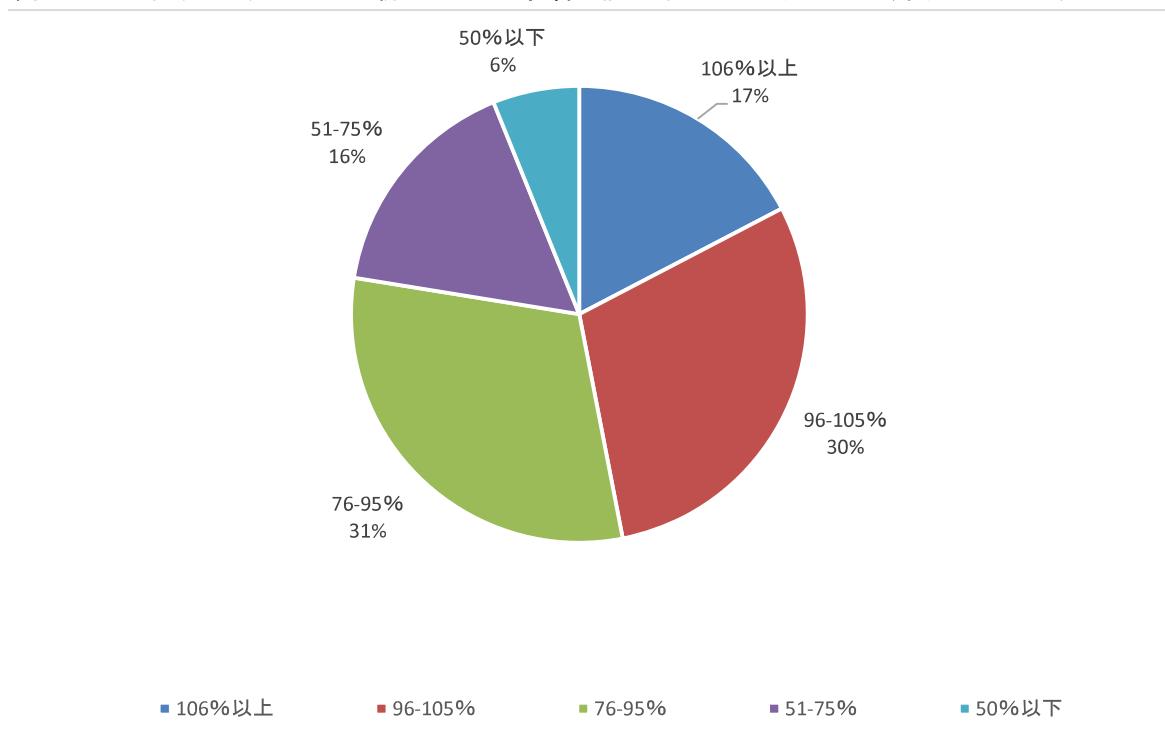
問12. 制度融資、雇用調整助成金以外の支援策を申請されましたか？



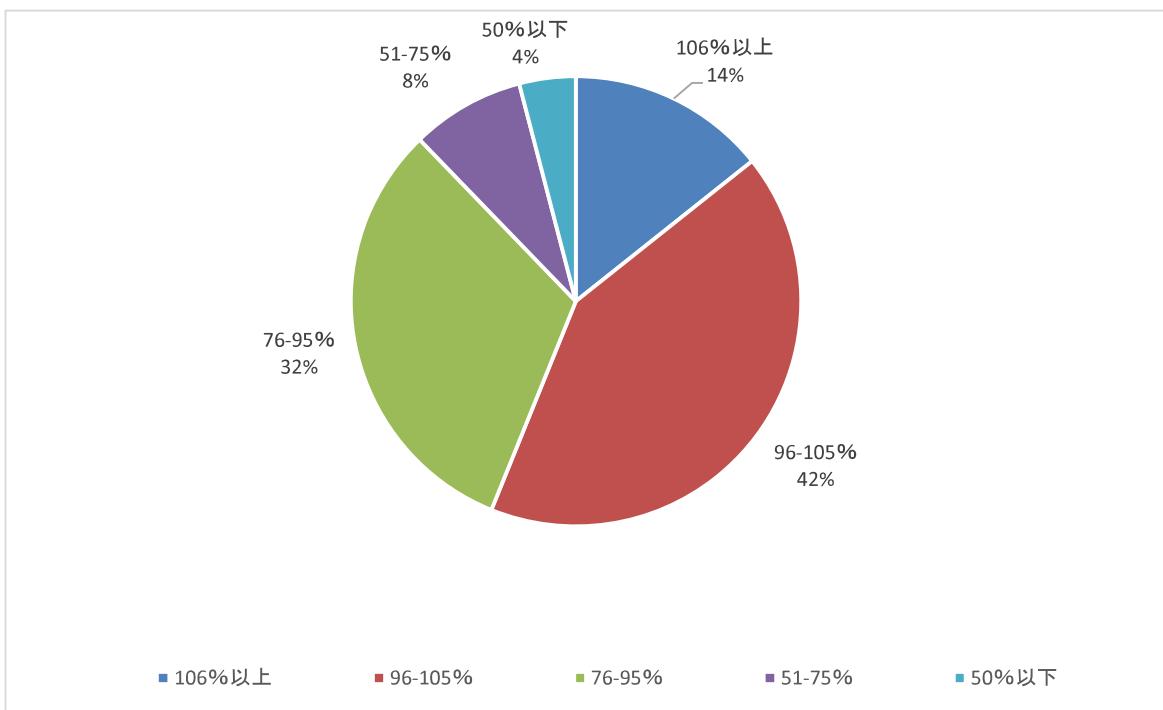
問16. 2021年4月～6月にかけて新型コロナの影響で前年に比べて売上がどう変化していますか？



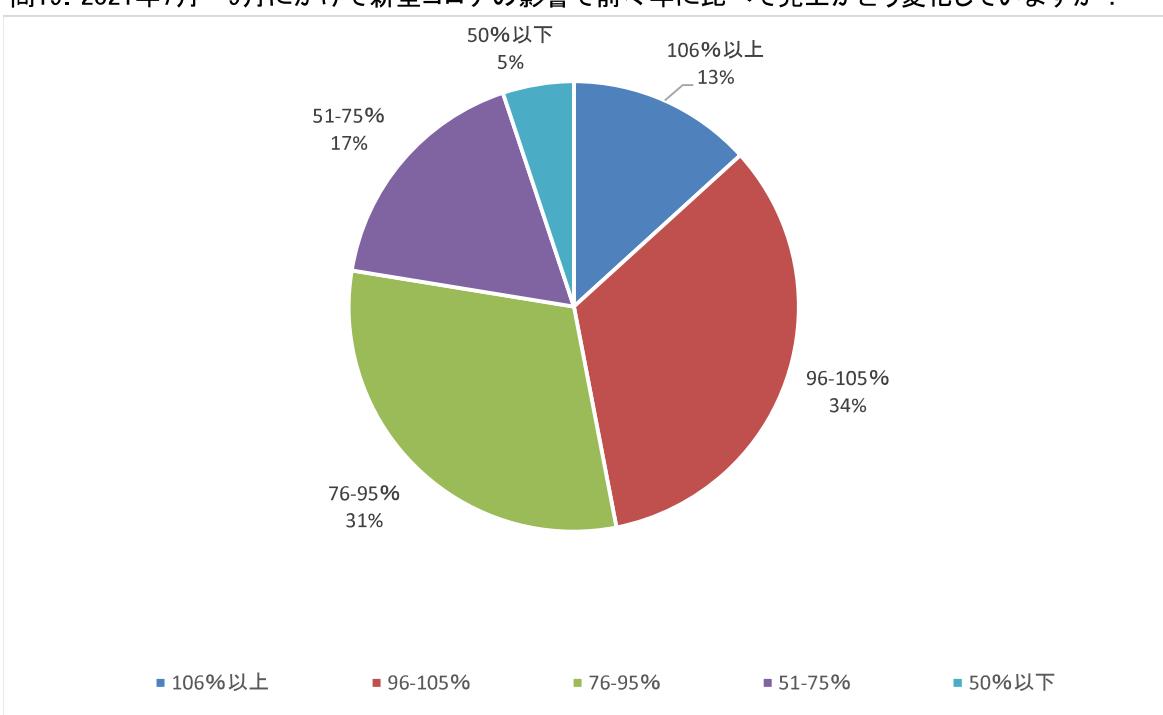
問17. 2021年4月～6月にかけて新型コロナの影響で前々年に比べて売上がどう変化していますか？



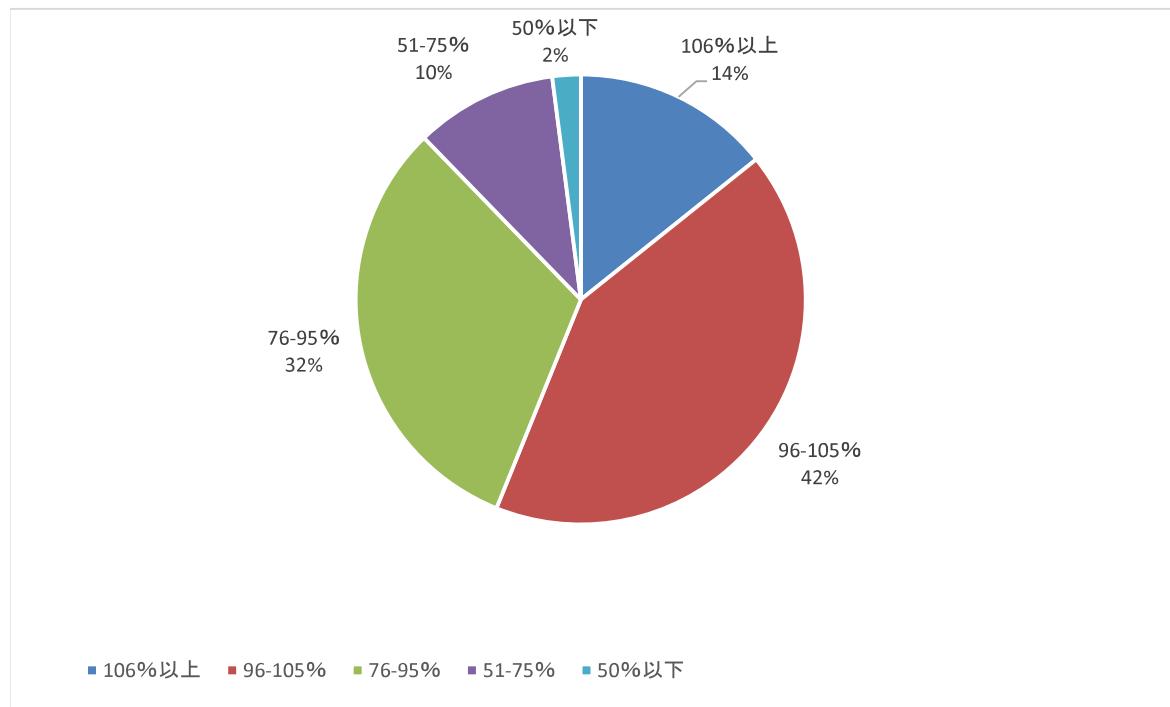
問18. 2021年7月～9月にかけて新型コロナの影響で前年に比べて売上がどう変化していますか？



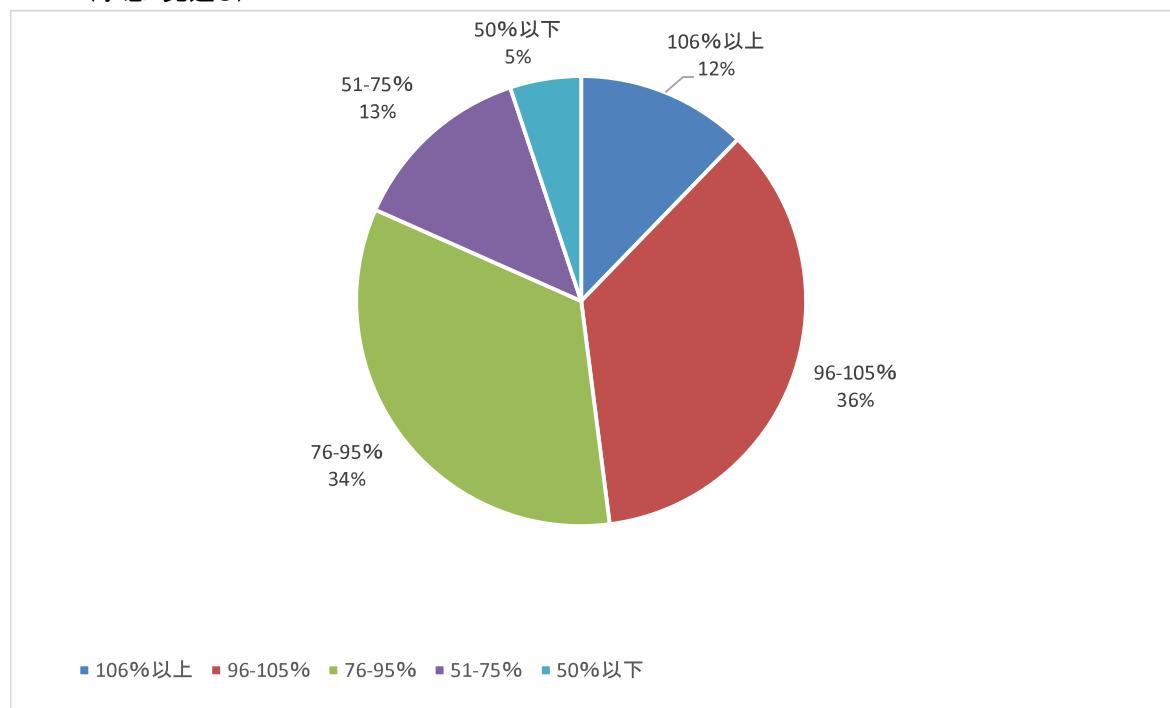
問19. 2021年7月～9月にかけて新型コロナの影響で前々年に比べて売上がどう変化していますか？



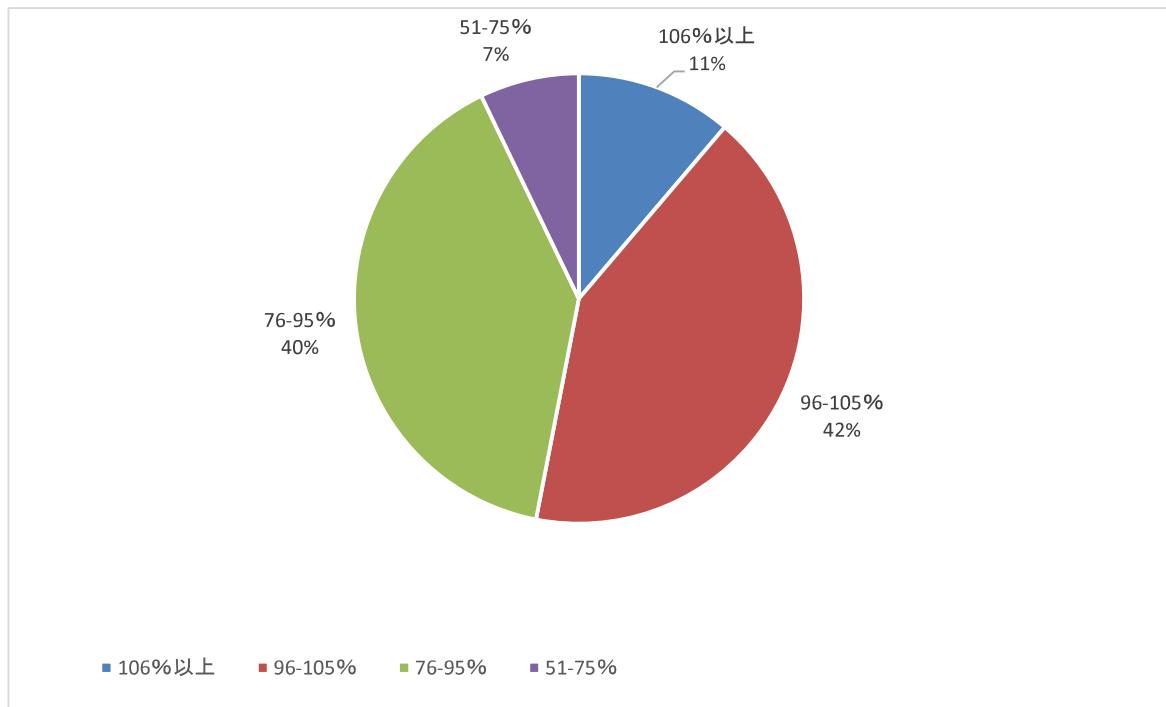
問20. 2021年10月～12月にかけて新型コロナの影響で前年に比べて売上がどう変化すると思いますか？
(予想・見通し)



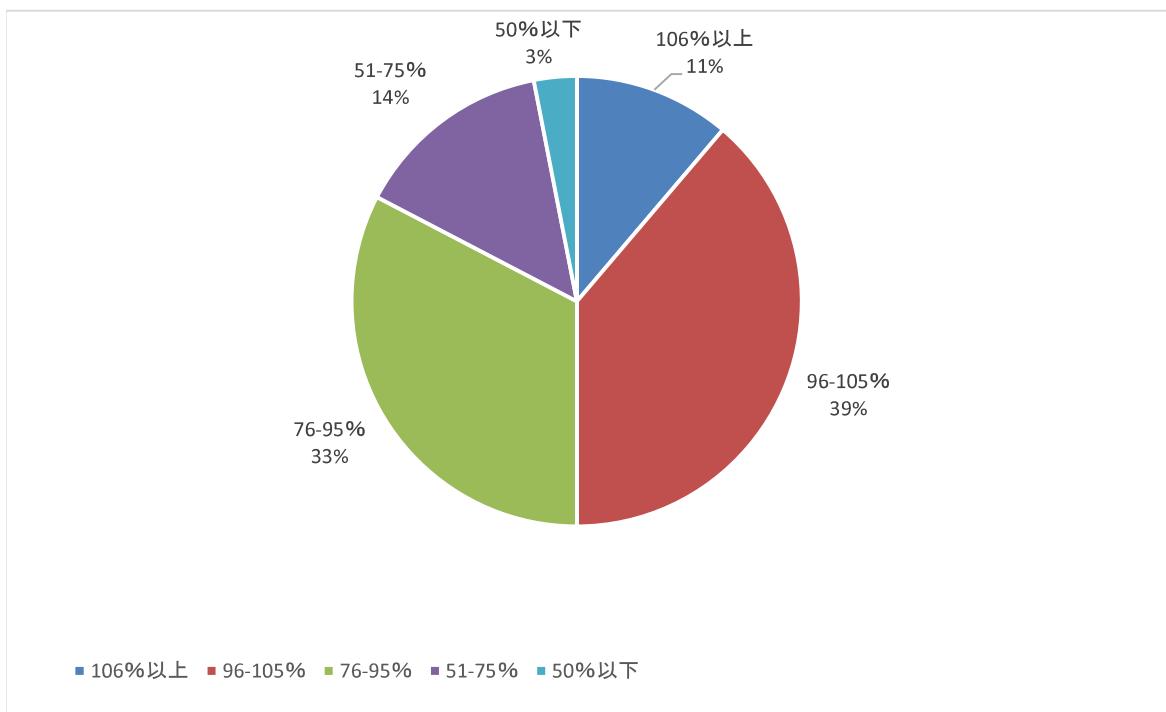
問21. 2021年10月～12月にかけて新型コロナの影響で前々年に比べて売上がどう変化すると思いますか？
(予想・見通し)



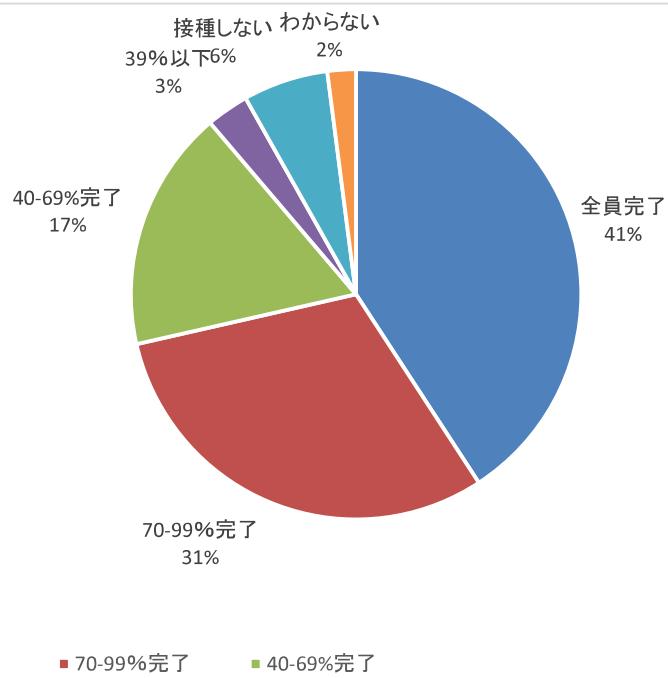
問22. 2022年1月～3月にかけて新型コロナの影響で前年に比べて売上がどう変化すると思いますか？
(予想・見通し)



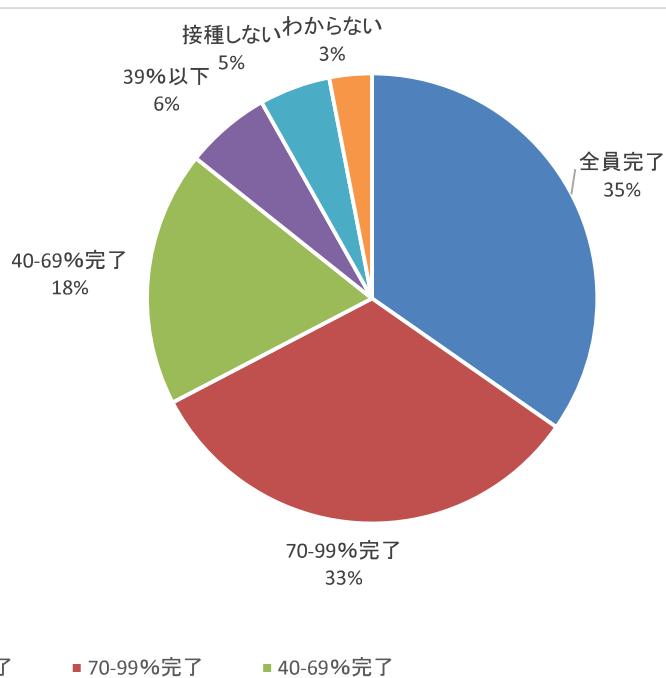
問23. 2022年1月～3月にかけて新型コロナの影響で前々年に比べて売上がどう変化すると思いますか？
(予想・見通し)



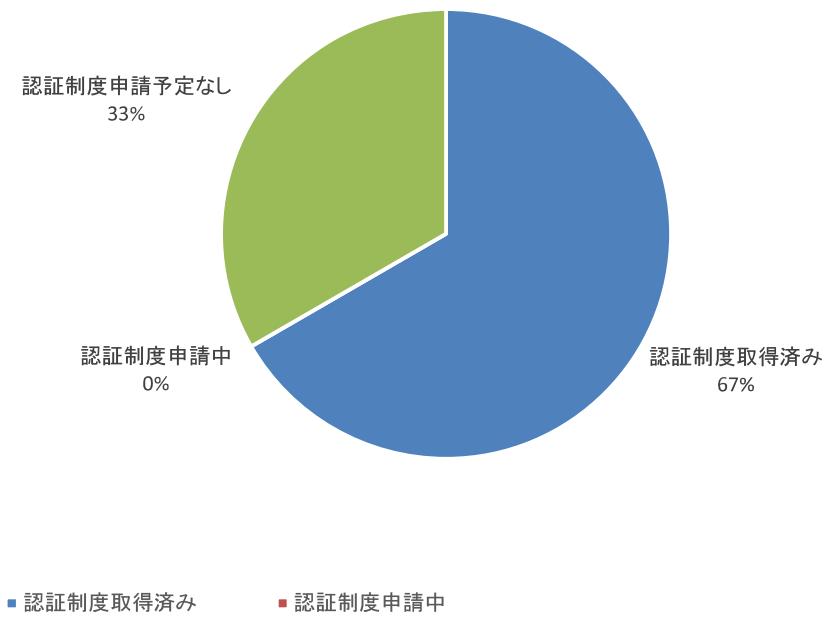
問25. 社内のワクチンの接種状況について(1回目)



問26. 社内のワクチンの接種状況について(2回目)

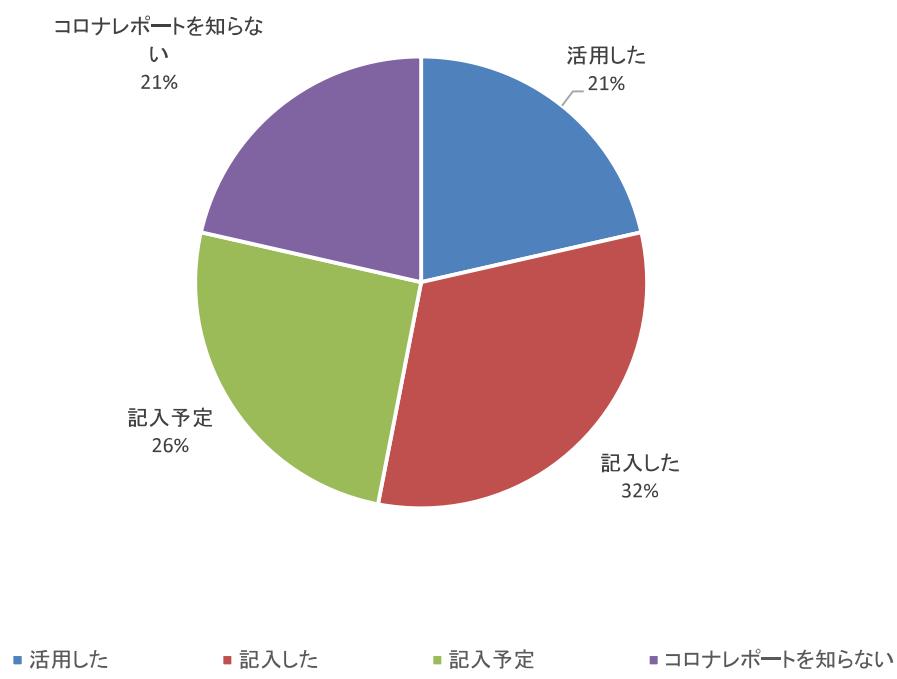


問28. 飲食店の方にお伺いします。

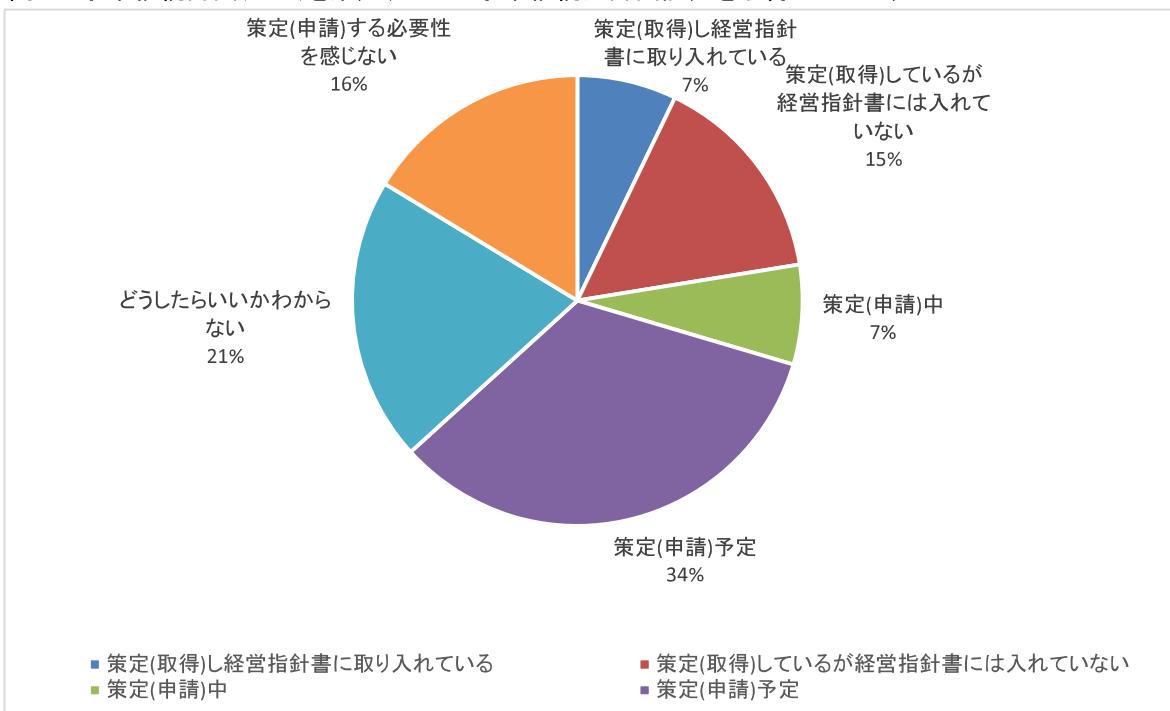


問30. 「自社経営とコロナ」レポートを活用しましたか？

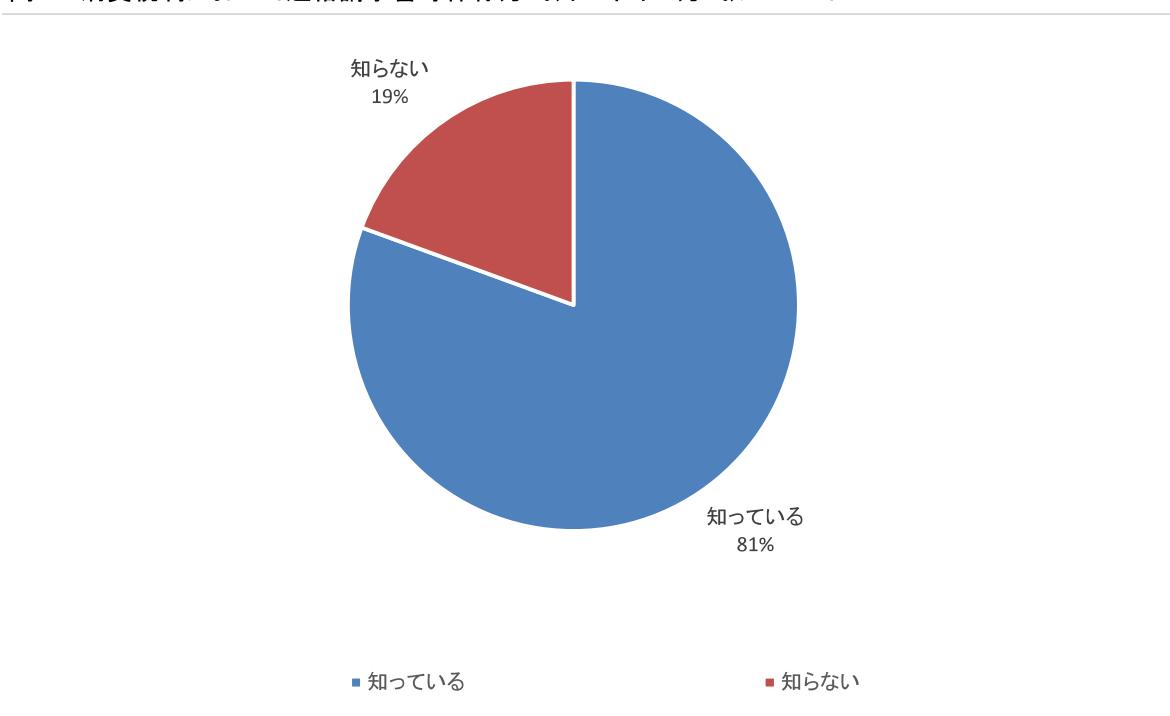
<https://www.kagawa-doyukai.com/saigai/report.php>



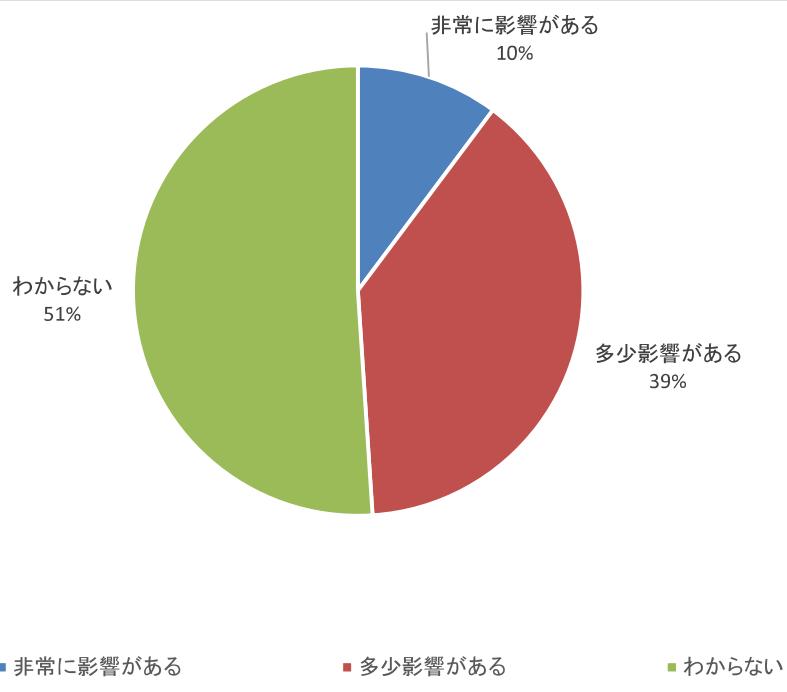
問32. 事業継続計画(BCP)を策定、または事業継続力計画認定を取得していますか？



問33. 消費税制において適格請求書等保存方式(インボイス方式)について



問34. インボイス方式導入による影響について



記述回答／問 13・14・15・24・27・29・31・35 記述回答

問 13 問 12 で申請した・申請予定の方、具体的な支援策をお答え下さい。

(問 12 制度融資、雇用調整助成金以外の支援策を申請されましたか?)

- ・事業再構築補助金
- ・制度融資、雇用調整助成金を活用した
- ・持続化給付金、小規模事業者補助金
- ・制度融資
- ・国民金融公庫コロナ特別貸付
- ・日本政策金融公庫 新型コロナウィルス感染症特別貸付（特別利子補給制度）
- ・家賃補助など
- ・観光庁補助金、県補助金
- ・小規模事業者持続化給付金
- ・コロナ融資
- ・事業再構築補助金、持続化給付金
- ・持続化給付金、持続化補助金
- ・IT
- ・持続化給付金、香川県持続化応援給付金、家賃支援給付金、香川県家賃応援給付金、一時支援金、香川 営業継続支援金、月次支援金
- ・応援金など
- ・時短営業協力金
- ・日本政策金融公庫からコロナ融資を受けた
- ・補助金、助成金
- ・給付金
- ・自治体による支援融資
- ・月次支援金、観音寺市事業者応援給付金、社会福祉協議会の各貸付制度
- ・経営継続補助金
- ・コロナ融資

問 14 これまでの公的な支援や政策で良かったことを挙げてください。

- ・緊急事態に陥った時の予備的措置として、ある程度柔軟に対応してくれている。
- ・香川県としての感染状況の分析と基本方向を出してもらえたこと。
- ・コロナ対策のための設備に対しての補助があった。（テレワーク対応も含めて）
- ・財政支援や雇用対策
- ・学校休校に伴う補助金制度を昨年使用させていただきました。ありがとうございます。
- ・制度融資、雇用調整助成金
- ・持続化給付金
- ・制度融資
- ・資金面で安心できた

- ・前年の一歩進めた
- ・支援もありませんので、政策が良いのか悪いのか分かりません。
- ・無利子での融資
- ・公的支援を受けていない
- ・ワクチン職域接種の推進
- ・補助金
- ・コロナ融資
- ・雇用調整助成金が手厚かった
- ・GO TO トラベル事業。香川県民割りなど
- ・想像以上のワクチン接種スピード。最初は皆懐疑的であったが。
- ・各種助成金、給付金は効果があったと思います。
- ・特になし、影響が少ないと、支援が受けられない、不公平
- ・コロナで経営が低迷。公的支援のおかげで、今まで乗りきることができている。
- ・融資が迅速な対応でした。
- ・給付金
- ・10万円の給付
- ・持続化給付金
- ・持続化給付金の給付
- ・使ってはいないが雇用調整助成金は多くの企業が助かったと思う。
- ・ワクチン無料
- ・テレワーク補助金
- ・少額でも用途が広い補助金の支給
- ・売上が厳しい中、色々な政策があり助かりました
- ・資金的にすごく助かった。
- ・政策金融公庫の融資を迅速に受けられた。
- ・ものづくり補助金
- ・持続化補助金
- ・迅速に無金利での借り入れができたことは大いに助かった。
- ・持続化給付金
- ・助成金
- ・給付金、等
- ・GOTO トラベル地域共通クーポン
- ・給付金をもらえたこと
- ・継続給付金
- ・助成金
- ・持続化給付金は良かったと思う。申請要件や支給額を申請者の実情に応じて調整できるような制度設計に改良して第2弾、第3弾と続けてほしい。
- ・お金がまわっている
- ・助成金
- ・雇用調整助成金

- ・柔軟な制度融資
- ・制度融資
- ・家賃補助、コロナ対応融資。
- ・香川県独自の支援は役立った
- ・給付金制度の迅速な対応
- ・コロナ対策の無金利融資
- ・10万円給付
- ・コロナ融資で新規事業への設備投資ができた
- ・丸亀市のコロナ応援助成金を使って、空調設備を導入出来ました。
- ・コロナの影響による融資制度、感染防止の助成制度
- ・雇用調整助成金
- ・補助金、助成金
- ・丁寧な電話相談、スピーディーな書類審査と入金。
- ・給付金制度
- ・持続化給付金は助かりました。
- ・無利子融資、雇用調整助成金
- ・国県市それぞれの給付金制度により事業継続できております。
- ・1人10万円の給付金
- ・資金繰りが助かっている
- ・局面ごとに適切な支援はある程度行われてきたと思う。
- ・感染対策助成金、制度融資
- ・月次支援機関は、とても助かりました。
- ・助成金
- ・コロナ融資を受けた

問15 行政に要望することがあればお答えください。

- ・困っている中小企業への迅速な支援
- ・とにかくわかり易い制度でビジョンを明確にして、説明の機会を増やしてほしい。
- ・行政も厳しい中で開催されており、感謝しております。
- ・いつもより多くの現状の声を聴き政策に生かして欲しい。
- ・何が良くて、何がダメなのかのエビデンスをしっかりと示して欲しい
- ・迅速な決断、実行をお願いしたいです。
- ・景気拡大の政策
- ・まだまだ苦しい状況が続いてます、持続化給付金をもう一度お願いしたい。
- ・臨機応変な機敏な対応 対策
- ・前年のように積極的に
- ・沢山ある
- ・今後の仕事につながるような助成金を考えてほしい
- ・迅速に対応する

- ・雇用調整助成金の手厚さを継続的に
- ・継続的な支援活動を柔軟に実施していただきたい。
- ・おそらく 3 回目のワクチン接種が視野に入ってくると思うが、合理的なワクチン配分を是非検討してほしい。医療スタッフ、老人は別として、感染の危険性の低い人口密度の低い田舎は後回しでよい。
- ・事業者支援の予算を拡充し地域の活性化が喫緊の課題だと思います。
- ・中小企業全体への平等な支援
- ・公的支援など、国や地方自治体が広報している情報が拾いにくい。
- ・無意味な飲食店に対する見回り。
- ・給付金
- ・制度融資の返済開始時期の延期
- ・今後も情勢に合わせてスピードを持ってサポートしてもらいたい。
- ・コロナ罹患者に対する支援
- ・補助金申請に対しての柔軟な対応
- ・もっと柔軟な金融支援
- ・障がいがある人にもわかりやすい情報提供
- ・物資の調達に当たっては必ず地元資本の企業が窓口になるように条件を付けるべきです。都市圏資本企業の地元出先への発注は富の集中に加担することです。岸田政権も再分配を掲げています。
- ・設備投資に対する補助金をどんどんだしてほしい。
- ・これまで通り迅速で正しい情報発信
- ・景気回復の対策を期待したい。
- ・助成金出してほしい
- ・迅速な情報提供
- ・感染拡大の防止と経済対策の両立
- ・給付金を支給してほしい
- ・徳政令か大幅なインフレ
- ・正確な情報
- ・平等ではなく、公平な対応をして頂きたい。
- ・業種や規模、顧客の特性に応じた柔軟な支援を行ってほしい。
- ・飲食以外の中小企業にもインタビューしてほしい。
- ・飲食店以外の業種の補償の拡充
- ・ゼロコロナを目指す姿勢はやめていただきたい。
- ・規模に応じた支援金の分配、一部に手厚いと感じる
- ・新規事業助成金など助成金の申請を簡単にしてほしい
- ・休んでください
- ・今後どうなったら(感染者が増える、ある人数を超える/コロナが収束する)こうするというシナリオの提示が欲しい
- ・タイムリーな景気刺激策
- ・一部の業種に偏っている感じがあるのでもう一度 10 万円給付お願いしたい。
- ・ワクチン接種で若手スタッフが全員 3 日間程度休んで業務がストップしているが、クライアントに対して何も言えない。制度が欲しい。

- ・コロナ禍での柔軟な対応
- ・引き続き助成制度の継続
- ・飲食店だけではなく、人が動かなくなったら、困る企業はたくさんある。本当に困っていることに対応してほしい
- ・科学的な対策
- ・引き続き、スピーディな対応。
- ・給付金制度などの拡充
- ・コロナ影響を受けている業界に対しての補償
- ・制度融資の無利子期間の延長
- ・将来の納税によりお返ししますので、給付金などで支援していただけますと助かります。
- ・助成金の拡充、正確かつ迅速な情報提供
- ・景気回復
- ・消費税率を考える
- ・今後、感染症対策と並行して経済再生への施策もしっかり行ってほしい。
- ・PCR検査等安全確認の拡充、無料化
- ・もっとシンプルな手続きを希望
- ・公共工事を増やして欲しい
- ・補助金を申請しようとした際、行政の予算が少なく、申請できないことがある。また、項目がたくさん分かれている、申請の手間がかかる。
- ・必要な制度で迅速な支援

問24 経営全般で今一番困っていることは何ですか？

- ・経済の低迷
- ・新しい生活様式に対応した設備投資の見極めが付かない。資材の調達が困難な上、〇〇ショックなるものが影響してお客様に不安感がのしかかっている。
- ・IT化促進のための人材の確保
- ・お客様との対面営業がし辛い。
- ・イベントなどの中止による需要の停滞
- ・今のところ大丈夫です。引き続き頑張ります。
- ・人材
- ・コロナが落ち着かなければ売上見込みがたてられない。事業計画もたてにくい。
- ・人手不足
- ・社員の育成 求人活動
- ・仕事において公的な物の対策として考えてほしい
- ・採用
- ・受注機会の損失
- ・営業の手法
- ・収益性悪化、原材料価格高騰
- ・売れる仕組み

- ・人材採用について
- ・採用
- ・今後の見通しがわからない
- ・売上が上がらず、人件費等のコスト増が経営を圧迫している
- ・毎年発生する異常気象への対応。
- ・社員の育成
- ・顧客支援で残業時間が増えています。
- ・人材不足
- ・資金繰り
- ・受注量の減少
- ・採用
- ・雇用
- ・後継者が役立たず
- ・資金繰り資金繰り
- ・地味に売り上げの減少が続いている。
- ・新規売上
- ・売上が不安定
- ・人手不足
- ・人材不足
- ・受注減少
- ・売上減
- ・人材不足による人材確保
- ・原材料高騰による仕入れ価格の上昇
- ・売上
- ・商材の未入荷による機会損失と事業効率悪化（液晶などの半導体やモーターの不足とサプライチェーン分断消失とコンテナ寡占による物流遅滞に起因するが、それらが更に長期化する見通しであること）
- ・利益確保。
- ・売上のばらつき、読めない
- ・雇用
- ・世界的な半導体不足により、メーカーから商品が供給されない。物流にも遅延がおこっている。
- ・人手不足
- ・消費低迷
- ・様々な情報が飛び交い先行きが見えないこと。
- ・忙しい
- ・売上消滅
- ・アフターコロナがいつからどんな感じになるのか
- ・人材育成
- ・社員教育
- ・人材不足、顧客離れ
- ・事業転換

- ・人材育成
- ・資金繰り
- ・人手不足
- ・人材確保育成。材料の価格の高騰。
- ・優秀な人材雇用
- ・継続・安定した売上
- ・景気の底冷え
- ・経済が不安定で保険加入者が減額や保険料を抑えたい方が増え売り上げ低下。
- ・社員教育
- ・コロナの影響がどこまで続くか見通しが困難
- ・人手不足
- ・イベントがないので、人が動かない。購買意欲が落ちている。人に合わない、マスクをしているからどうでもいい感じ
- ・会議や挨拶のための訪問の可否を迷うこと
- ・組織経営を行うために必要な人材がいない
- ・受注量の減少。
- ・イベント等の自粛、利用者に重度の障がい者がいるため医療崩壊による影響が大きい
- ・業務の選別
- ・景気の先行き
- ・赤字現場の損失補てん策
- ・海外からの入国制限
- ・現場の減少
- ・来客数の減少 積極的な集客が出来にくく
- ・コロナ融資の返済開始に向けた対策の目途が立たないこと。
- ・移動制限
- ・お仕事が減っていること
- ・人材不足
- ・単価の交渉ができず、下請け業だけでは毎年最低賃金を追っていくしかない
- ・人材育成
- ・先行き見通しがたたないこと

問27 ワクチン接種に関するご意見があればお答えください。

- ・早く3回目を打てるようにして欲しい
- ・希望する人全員が接種出来ずように行政の支援等経営者の理解を求めます。
- ・3回目接種が本当に必要なのだろうか？飲み薬がでれば必要は無くなるのではないだろうか。
- ・当初ワクチンを打てばかからないという説明から、いつの間にか重症化を防ぐといった形に説明が変わってきてている。全国民の6割が接種すれば抑え込めると言っていたが第5波の感染が起った。ブレイクスルー感染についての説明も足りないようだ。
- ・もともと全国民の1%しか感染していない、しかも重症化するのは更にその1%以下。さらには感染し

ても無症状の患者が多数いる状況で本当にワクチン接種を全国民に実施する必要があるのかどうか非常に疑問。

・弊社では政治や宗教と位置づけを同じと考えています。個人の意思（健康上も含めて）を尊重したいと考えております。ただし【義務化】された場合はこの限りではありません。

・わたしは受けません

・同友会の職域摂取のご案内には大変助けられました。今回のみとのことでしたが可能ならまたお願ひしたいです。

・第三回目はいつごろか

・ワクチンが本当に効果があるのか？それ自体が不明。。。

・社員さんのよっての考え方の違いがあると感じました。

・義務化

・副反応を考え休暇を入れているので少し人手不足になる

・本来であるならばコロナウィルスに罹患する可能性のより高い人口の稠密な地域にワクチンを優先配布すべきであった。香川県であれば高松市中心部。三豊、観音寺市などの田舎のワクチン接種が県内都市部よりも早く始まり、接種率も早く高くなるというワクチン配布方法は誤りである。

・それなりに効果が出ていると思います。

・情報を開示し、判断は各々に任せております。

・ワクチン接種は個人情報なのでこんなところで状況のアンケートをとるべきではないと考えます

・治験が済んでないような状態で打つことに不安

・ネガティブニュースが多いので若い女性がしり込みしている

・①高松市の接種予約に於いて、直接予約が可能な病院があることをご存じない方が複数おられました。

今後の各種施策などの周知に当たっては方法のいっそうの工夫を望みます。

②攪乱を意図した反ワクチンの SNS の取り締まりをするべきでした。無用な対立を生み、人心の分断につながる恐れがあります。”

・なかなか予約が取れない

・来年以降の接種予定はどうなっていますか。

・3回目も早く

・様々な情報があり、混乱している。

・3回目を早くしてほしい

・利きもしないワクチンを何のために打たせるのか解りません

・ワクチン接種後どんな生活ができるのか

・ワクチン接種そのものの効果がいまいち社会に浸透していない。特に感染予防効果はどの程度あるのか。

・個人の自由

・国からの正しい情報がほしい。

・現状接種する予定なし。

・日曜日の夜に接種できる会場や東京都が行っていたミッドナイト接種

・予約が簡単に取れない

・個人の問題なので強制は出来ないが接種していない社員に対しての社内の反感が多い

・ワクチン差別が起こるのではないかと思います。

- ・ケア事業所への3回目の接種を早く
- ・ワクチン接種を活動の条件にすることはハラスメントだと感じる。接種による感染リスク低減は、油断して不用意なリスク行動を取ることで無効化されると考える。
- ・若年層の接種が容易となるような体制づくりを。
- ・障がい等によりワクチンが接種できない人もいるので、ワクチン接種で差別をしないでほしい
- ・早く日本製のワクチンが認可されてほしい。
- ・国産ワクチンの早期製造に期待します。
- ・引き続きワクチンと治療薬が対策の本命だと思っている。
- ・ワクチンを打てる健康状態ではない為、打つことが出来ない。それに対応するものが出来たら良いのですが、自己防衛するしかない状態で不安。
- ・3回目を打ちたい
- ・ワクチン接種の副反応によって休みを取るしかなくなった場合に、雇用調整助成金のようなものがあれば良かった

問29 認証制度に関するご意見があればお答えください。

- ・指導された感染防止対策の効果に疑問を感じる

問31 具体的に取り組んだ（取り組もうとしている）環境変化に対する自社の方策（変革）は何ですか？

- ・全員のワクチン接種と県外出張時にPCR検査
- ・社内のコロナ対策のマニュアル作成、SDGsとBSP対策をリンクした営業推進
- ・自宅でのテレワーク環境を整備するために設備投資をおこなった。
- ・営業のやり方を少し工夫したい
- ・新事業への挑戦
- ・時短営業からの働く時間の短縮をしました。指針書に記載していたことが前倒しに進んでいます。
- ・新規事業への投資
- ・経費削減のために分業化を撤廃した
- ・デジタル時計の推進 雇用形態の多様化
- ・コロナだから改革するのではなく、コロナ関係なく改革が常に必要です。コロナ禍を責任にしてはいけません。
- ・WEBでの情報提供の仕組み化、メルマガの発送、社内チーム制、情報共有による仕事分担の変更
- ・HCFCの回収
- ・事業領域・マーケット拡大戦略、新規事業参入
- ・インサイドセールス
- ・コロナレポートを知りませんので、ただ、マスク、換気、消毒、行動制限の徹底かと思います。
- ・社員との関係
- ・県外出張者、大病院通院者（家族も含む）の出勤停止措置、および出勤停止社員が生じても業務に支障を来さないだけの人的資源の確保、養成。
- ・取引先のサポート

- ・方策はありません。
- ・取り組んでない
- ・既存の販売方法にとらわれずに、新しい販売方法・サービスを確立する。
- ・テレワーク
- ・商品開発
- ・DX
- ・新しいことへの挑戦
- ・資金準備を潤沢に。
- ・顧客はあまり変わりませんが、サービス内容を深めて提案しています。
- ・新規事業の実行
- ・新規顧客の創造
- ・新しい挑戦
- ・事業内容の見直し
- ・製品・イベント等の情報発信、ネット販売強化。
- ・業態変更
- ・検討中
- ・オンラインを活用した会議等の導入
- ・徹底した感染対策
- ・紙のリサイクル
- ・新事業展開
- ・SNS 活用で新たなマーケティング
- ・飲食部門の撤退
- ・新規事業の取組み
- ・経営者の働き方改革
- ・経営理念の成文化
- ・設備投資
- ・オンラインの活用
- ・社員の感染対策
- ・自社の強みによる環境の変化への対応
- ・事業再構築補助金を申請している。
- ・新事業
- ・一部の事業分野からの撤退。
- ・新たな事業の展開
- ・情報収集の重要性
- ・経営指針書を創りました。
- ・ZOOM を活用した社外との面談
- ・自社製品の取り組み
- ・消毒、検温コーナー等の対策をした
- ・廃業も視野に入れた抜本的な対策を取ろうと考えている。
- ・短時間ながらのお客様への接点維持

- ・自社製品の製造販売
- ・柔軟な対応を取る姿勢

問35 インボイス方式に関するご意見があればお答えください

- ・小規模企業からとことん税金を取るのは即座に中止してもらいたい。
- ・具体的な事例に基づいての勉強会が必要
- ・制度が知られていないので、急速に知らせる必要がある。
- ・導入済みで特に意見無し
- ・税の公平性の観点から評価できると考えています。
- ・間接的な事が分かってないから、どうするのが良いか考えている。でも導入予定
- ・インボイス方式自体が良く分からないし、たぶん我が社には関係のない話だと思います。
- ・請求業務のシステム変更が必要になると思われるため、そこに対する支援があればうれしい
- ・今のところ困っていない
- ・零細企業への負担が大きいので反対派である
- ・よくわからない
- ・インボイス制度導入時は混乱があると思いますが、課税の公平という観点からはもっと早く導入すべきだった。
- ・もっと情報がほしい
- ・課税売上高1千万円未満の小規模事業者にとっては維持存続ができなくなると思います。
- ・導入すると特に一人親方等の個人事業主は、知ると知らないで大きく差が出るのでは？
- ・導入は仕方ないと思います。
- ・廃止して欲しい。
- ・益税の排除が目的であれば、免税制度（小規模事業者の納税義務の免除）の改正をするのが筋
- ・導入に向けて動いている。
- ・適格請求書発行事業者以外の取引について確認が必要で、今、検討中です。
- ・撤回要求しようともやがて来るインボイス。電子インボイス採用で一気に自社のDXを進化させるのも前向きな経営改善手法に成り得ます。
- ・個人事業主としてはこれまで優遇していただいていたという思い。課税事業者になれるよう努力あるのみです。
- ・影響なし
- ・講習会等開いて欲しい。
- ・税全般の応能負担。
- ・事務手間が増えるのなら困る
- ・一人親方にとて非常に問題であり、国民を苦しめるためだけな存在と思ってます。
- ・なぜインボイスを取り入れるのか
- ・わからない
- ・経理処理に負担をかけないでほしい。
- ・もっと大々的に公表して欲しい
- ・影響はありません。

- ・これから様々影響が自社にもあるので勉強したいと思います。
- ・中身を聞いてもまた忘れてしまうので内容がきちんと理解できていない。
- ・国のPRが足りない
- ・わからない
- ・中小企業には大きな影響があると思います
- ・廃止すべきです。
- ・分かりません
- ・あまり関係がないでよくわからない。
- ・影響なし
- ・導入によるコスト増や事務負担を考えるとコロナ下での実施は負担が大きい
- ・制度導入にあたり、見識のある同友会員さんのセミナーがあれば参加したい。
- ・もっと具体的に対象社、対象事例をまとめたものが欲しい。
- ・今後納税義務が生じる予定ですので、備える意味でも税理士さんと相談しながら制度への理解を深めていこうと思います。
- ・行政やメディアから世間にもっとわかりやすく情報発信、説明をしてほしい。
- ・影響なし
- ・猶予期間の間に経営がどうなるか分からぬので、今は対応を考える心境にはなれない。
- ・手間が増えるので困る
- ・影響なし
- ・良く分からない